

第138回福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議

- 1 日時 令和4年7月1日（金）16：45～16：54
- 2 場所 危機管理センター災害対策本部会議室（ペーパーレス会議）
- 3 議事

（1）新型コロナウイルス感染者の状況等について

（保健福祉部長）

4 ページ、資料1をお願いします。

【資料1】

6月30日現在の療養者の状況です。入院者が48人、うち重症者が0人となっています。

6月15日以降、入院者数が100人を下回っております。

療養者数は、合計で727人となっております。

6月25日以降、1,000人を下回っておりますが、1,000人を下回ったのは、約5ヶ月ぶりとなります。

次に、6 ページ、新規陽性者の状況です。

人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数は26.35人で、6月5日以降、50人を下回っております。

この1週間は、減少傾向にあります。

次に、8 ページ、病床使用率でございます。

6.5%で、6月17日以降、10%を下回っております。

次に、10 ページ、人口10万人当たりの療養者数です。

39.66人で、6月26日以降、50人を下回っておりますが、50人を下回るのは、約5ヶ月ぶりとなります。

次に、13 ページ、保健所所在市における、人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数です。

全ての市においては50人を下回っており、福島市、郡山市においてはレベル2、白河市においてはレベル1の水準となっております。

次に、14 ページです。

保健所所在市を除く各市における、人口10万人当たりの直近1週間の新規陽性者数です。

喜多方市、相馬市においては100人を超えておりますが、それ以外の各市においては25人を下回っており、本宮市においてはレベル2、二本松市、田村市、伊達市においてはレベル1の水準となっております。

次に、15 ページ、モニタリング指標です。

「入院率」（6.6%）、「人口10万人当たりの療養者数」（39.66人）、

「人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数」（26.35人）が、レベル3、

「感染経路不明者の割合」（53.0%）が、レベル2、

「病床の使用率」（6.5%）、「重症者用の病床使用率」（0.0%）、

「PCR陽性率」（4.9%）がレベル1となっております。

説明は、以上です。

(2) 新型コロナワクチンの接種状況について

(病院局長)

17ページ、資料3をご覧ください。

【資料3】

1 接種実績につきましては、6月29日時点で、3回目接種の回数が、1,269,502回、全人口に対する接種率は68.2%となっております。

また、4回目の接種回数は10,725回となっております。

資料中段の囲みの部分、6月末累計の対象者、約152万6千人に対する3回目の接種率は83.2%となっております。

なお、5歳以上11歳以下の小児の接種率は、1回目が36.9%、2回目が33.4%となっております。

資料下段の「参考」につきましては、首相官邸ホームページの「3回目接種の年齢階級別接種率の実績」の抜粋です。80歳代を除いて、本県は全国を上回っております。

次ページをご覧ください

7月に実施するワクチン接種の取り組みについてでございます。

大規模接種について、12歳から17歳までの方を対象とした3回目接種を県内4地域で実施いたします。

また、ノババックス社ワクチンについては、18歳以上の方を対象とした1回目から3回目接種を同じく県内4地域で実施いたします。

引き続き、県民の皆さんのワクチン接種が進むよう、市町村と連携し、しっかりと取り組んでまいります。

説明は以上です。

(3) その他

(仲村准教授)

県内の感染状況は減少傾向にあります。全国的には、より感染力が高いとされるBA.5への置き換えが進んでおり、増加傾向の地域も見られています。

この点で、基本的な感染対策の継続が求められており、特にワクチン接種対象で未接種の方にはワクチン接種をお願いしたいと思います。

また、熱中症のリスクがある中でのマスク着用となるため、症状がわかりにくくなるということも指摘されておりますが、発熱、咳など何らかの体調変化を認めた際には、新型コロナウイルスの検査についても、引き続き積極的に行っていただくことをよろしくお願いいたします。

(知事)

はじめに、感染症対策や医療の現場で献身的に御尽力いただいている医療関係の皆様、心から感謝を申し上げます。

また、県民の皆様、事業者の皆様におかれましては、日頃から様々な場面において、感染拡大防止に御理解、御協力を頂いており、厚く御礼を申し上げます。

全国の1日当たりの新規陽性者数は、6月下旬から前の週の同じ曜日を上回る日が続いて

おり、さらには、過去最多を記録する地域もあるなど、増加する傾向が見られます。

一方、本県においては、1日当たりの新規陽性者数が、先週末から100人未満で推移するとともに、9日連続で前の週の同じ曜日を下回るなど、減少傾向が見られます。

また、6月は、クラスターの発生件数こそ減少したものの、児童施設と学校での発生が約7割を占めるなど、依然として子ども関連施設の割合が高い状況が続いています。

現在は、オミクロン株BA.2型が主流ですが、更に感染力が強いとされるBA.5型への置き換わりが進む懸念も指摘されています。感染の再拡大を防ぐため、引き続き、様々な場面に応じたマスクの正しい着用やこまめな換気、人と人との距離の確保など、基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。

また、お子様の体調変化にもよく気をつけてあげてください。

今年は、例年より梅雨明けが早く、厳しい暑さが続いています。

マスクの着用により、熱中症のリスクが高まります。屋外で、人と十分な距離が確保できる場合や、会話をほとんど交わさない場合は、マスクを外すようにしましょう。また、のどが渇いていなくても、こまめに水分補給を心がけましょう。

屋内で過ごす場合には、エアコンを適切に使用するなど暑さを避けるとともに、窓やドアなどを2か所開ける、扇風機や換気扇を併用するなど、換気をしながら涼むようにしてください。

特に、熱中症になりやすい御高齢の方、お子様、障がいをお持ちの方は、より注意が必要です。周囲の方からも積極的なお声掛けをお願いします。

現在、本県の感染状況はある程度落ち着きを見せておりますが、全国状況を踏まえすと、再び増加に転じる可能性があります。

県民の皆様、事業者の皆様におかれましては、感染の再拡大を防ぐため、熱中症などにも気をつけながら、基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。

県としても、感染症対策と社会活動・経済活動の両立を図るため、しっかり取り組んでまいりますので、引き続き、御理解、御協力をお願いいたします。